

令和5年度進路指導担当教員との懇談会 質疑応答まとめ

	質問内容	回答
1	2025年度入試から変更される日本文学科の一般選抜での「高等学校入学以降の主体的な取り組み」に対する加点枠について、どのように評価されるのか具体的に教えてほしい。	2025年度入試からの変更点で、検討中のため具体的な回答は控えさせていただきます。 【補足】 「高等学校入学以降の主体的な取り組み」 探究型学習での研究活動成果、学校外での社会活動等です。「総合的な学修の時間」「古典探究」における学びの履歴や成果を含みます。学校外のものでは、検定類への取り組みや言語表現活動にかかわる公募類への応募・入賞履歴などが想定されますが、具体的な成果のあるもので日本文学科のアドミッションポリシーにそった活動のものとしします。これらを定性的・総合的に評価します。
2	日本文学科の学校推薦型選抜の小論文の出題内容について具体的に教えてほしい。	ここ数年をご覧いただくと、問題文を読んでそれについて論述する出題になっている。古典的な視野を持った学生に来てほしい、広い視野で日本の文学、日本の文化を捉えてほしいという意図で、問題文に現代の問題だけでなく、古典や古典に関わりのある問題が出題されている。 【補足】 小論文の出題内容 小論文では次の3つの力をはかるものを出题します。 ・日本文学科で学ぶテキスト（古典を含む）を読むための、基礎的な読解力があるか ・日本文学科で学び研究・創作を行うための論理的思考ができるか ・自らの思考を、論理的にわかりやすく文章として表現し、説明することができるか 評価の観点は次のようなものです。 ・課題文の内容への正確な理解、課題文をもとにした論理的思考がなされているか ・文章表現上の正確性（表記や意味用法、用語や具体例の適切性）があるか ・適切な論拠にもとづき主張がおこなわれる論構成をおこなえるか
3	美術学科の学校推薦型選抜での小論文に課題を感じる生徒が多い。どの程度書けていけばよいのか。	普段や作品を制作しているときに考えていること、制作した実感等のある程度筋道を立てて言語化して示すことができるかを求めている。
4	日本文学科の学校推薦型選抜で口頭試問と学修調書の配点が一律で40点となっているが、配点の区分けを教えてほしい。	口頭試問は学修調書の内容をもう少し詳しく聞きたいというような質問をするため、回答と学修調書の内容が複合的になると考え、総合的に評価をしている。 【補足】 「学びの履歴」と「計画」を学修調書で判断し、それに基づいた面接を行います。「論理的表現力」と「対話力」については特に口頭試問のなかで評価します。これらの観点でルーブリック評価を行いますが、最終的な得点は総合的に判断されます。 *当日の質疑では、「場合によっては小論文試験の内容についても質問する」と回答しましたが、コロナ禍で小論文を事前提出していた時に行った形式です。
5	経済情報学科の小論文の出題について、2021年度はグラフをもとに、2022年度は文章をもとに回答させる形式だったが、出題が変わった意図はあるのか。また合格者の得点に変化はあったか。	小論文の出題形式については、問題作成者により異なり、学科としての意図は無い。また合格者の獲得点もあまり変わらなかった。